



第22回 後期遺伝性 腫瘍セミナー

テーマ

「遺伝性乳がん・卵巣がん症候群をマスターする」

会期: 2020年3月6日(金)～8日(日)

会場: 国立がん研究センター
研究所(築地キャンパス)
先端医療開発センター(柏キャンパス)*
*築地キャンパスと中継【TV会議システム利用】

セミナー実行委員長: 吉田 輝彦
(国立がん研究センター中央病院)
桑田 健
(国立がん研究センター東病院)

<http://jsht.umin.jp/>

本年のテーマは「遺伝性乳がん・卵巣がん症候群をマスターする」です。がんや遺伝性腫瘍に携わる医療従事者の自己研鑽と医療の向上を促進するために設けた「遺伝性腫瘍コーディネーター・家族性腫瘍カウンセラー制度(FCC制度)」の称号取得には本セミナー受講歴3回以上が必須要件の一つであり、「遺伝性腫瘍専門医」の受験資格(恒久制度)の一つでもあります。また、これら称号・資格の更新の際も受講歴が必要となります。加えて本セミナーの受講歴は「臨床遺伝専門医」、「日本がん治療認定医機構」の受験あるいは更新、「認定遺伝カウンセラー」の更新、その他の専門・認定制度資格の受験・更新に必要な研修単位としても利用可能です。ただし、**本セミナーの受講証を獲得するためには初日の午前中に受付を済ませ、原則、以降全ての講義への出席が必須となっていますのでご注意ください。**

※本セミナーは2019年8月にホテルサンルート有明・がん研有明病院で開催された「第22回前期遺伝性腫瘍セミナー」とほぼ同一のカリキュラムで実施されますので、両方のセミナーに出席された場合でも、研修単位は出席1回分しか認められませんのでご注意ください。

主なカリキュラム:

遺伝学総論, 腫瘍学総論, 遺伝性腫瘍総論, 家系情報収集と家系図の作成, 乳がんの基礎知識, 卵巣がんの基礎知識, HBOC概論と遺伝学的検査, 卵巣がん領域の遺伝性腫瘍(HBOCを中心に), 膵がんに関わる遺伝, 乳房の画像検査, 乳房手術と乳房再建, がんゲノム医療, ロール・プレイ演習, その他

日時: 2020年3月6日(金) 午前～8日(日) 午前

会場: 国立がん研究センター 研究所(築地キャンパス)

国立がん研究センター 先端医療開発センター(柏キャンパス)【TV会議システム利用】

テーマ: 遺伝性乳がん・卵巣がん症候群をマスターする

定員: 中央病院150名+東病院50名(合計200名)

受講費: 3万円 懇親会費: 3千円(予定)

対象: 医療・福祉に関わる職種の方、認定遺伝カウンセラー、遺伝や腫瘍に関係する研究者やこの領域に関わる企業関係者、遺伝医療を目指す学生

主催: 一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会

担当委員会: 遺伝性腫瘍セミナー委員会 委員長: 吉田輝彦(国立がん研究センター)

問い合わせ先

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会 遺伝性腫瘍セミナー事務局

(有限会社トータルマップ内 担当: 飛松由紀子)

〒675-0055 加古川市東神吉町西井の口601-1

E-mail: seminar-jsft@totalmap.co.jp

TEL: 079-433-8081 / FAX: 079-433-3718